

## ○区内最大規模の知的障害者支援施設での出張申請受付・出張交付

### 1. 概要

- 知的障害者支援施設の地域交流会に区職員が赴いて、利用者及び近隣住民に出張申請受付を実施
- 後日、再度施設に赴いてカードを一括交付

### 2. 実施詳細・ポイント

#### ➤ 背景

知的障害者支援施設の利用者は、介助等の支援の都合、マイナンバーカードの申請・交付のために平日昼間に区役所に来庁することが困難であることから、保護者・成年後見人等の支援を受け易い地域交流会で、区が出張申請受付を開催することについて、施設と調整を行った。

#### ➤ 実施の流れ

1. 支援施設の運営協議会に諮問し了解を得る。
2. 保護者会で事前にマイナンバー制度の説明と案内、申請書、暗証番号設定依頼書を配布する。 ▲保護者・近隣用
3. 地域交流会で申請受付する旨を近隣住民へチラシをポスティング、町会掲示板にポスターを掲示し広報する。
4. 申請受付(2回)
  - ブースを設置
  - 施設入所・通所者や近隣住民対象に写真撮影、手書き申請書を使用し受付を実施
5. 施設入所・利用者保護者会での出張交付
  - カードが出来上がった段階で受取日の調整を行い、区職員がカードを施設内に持ち込み本人確認後交付

### 3. 効果(実績:2回、47人)

- 申請時に保護者・成年後見人等の支援者がいることと慣れた環境のもと写真の撮影がスムーズにできた。
- 地域交流会時の一括申請と保護者会時の一括交付により、保護者等の支援者も同伴しやすい。交付の際は、すでに暗証番号が設定済みであるため、暗証番号の設定に時間を要することがないことで支援者にも好評であった。
- 事前に必要書類の記入や準備についての周知・広報がなされていたため、短時間で効率よく処理することができた。
- 申請受付により地域交流会来場者数の増加が図られ、施設には「意外と交流会が楽しかった」という声が多く寄せられたそうで、施設管理者から、より多くの地域住民に障害者と施設に対し理解をしていただけたという声をいただいた。



## ○市民病院での出張申請受付及び申請サポート

### 1. 概要

- 小牧市民病院に市職員が赴いて、タブレット端末を使用した出張申請受付及び申請サポートを実施

### 2. 実施詳細・ポイント

#### ➤ 背景

- 令和2年3月からマイナンバーカードを小牧市民病院の診察券として利用。
- 令和元年10月28日から診察券の事前登録を開始。
- 病院は診察券利用のPRを！市民課はマイナンバーカードの取得促進を！タイアップして病院での申請受付を実施。



#### <事前>

- ・広報やHPへの掲載
- ・病院内にポスターを掲示
- ・報道機関への情報提供

#### <当日>

- ・申請受付(4日間)令和元年10月29日～31日、11月1日
- ・病院の総合受付に隣接する場所へ出張申請特設スペースを設置
- ・午前10時～午後3時
- ・正規職員と臨時職員3～4人で対応
- ・所要時間(1人あたり)出張申請受付方式…15分  
申請サポート…10分
- ・タブレット端末を使用したオンライン申請

#### ポイント①

初日の出張申請受付の様子をNHKで放映  
→テレビを見て翌日以降の申請者数増加

#### ポイント②

出張申請受付方式・申請サポート両方に対応  
→柔軟に対応することで、申請者数UP！

#### ポイント③

申請書がない人に対しても市役所や支所で常時受付している旨を案内  
→後日の申請につながった

#### ポイント④

来院者へチラシや啓発物を配布しカードの診察券利用やコンビニ交付などメリットをPR！

### 3. 効果

- 実績：4日間、116人(出張申請受付方式…43人、申請サポート…73人)
- 高齢者が多い ⇒ 交付の際に来庁不要である出張申請受付方式が好評
- 来院者へマイナンバーカードの診察券利用導入について知ってもらう機会にもなった ⇒ PR効果増大

## ○社会福祉協議会デイサービスでの出張申請受付・出張交付

### 1. 概要

- 社会福祉協議会に町職員が赴いて、デイサービス利用者に出張申請受付を実施
- 後日、再度赴いてカードを一括交付

### 2. 実施詳細・ポイント

#### ➤ 背景

- 利用者の多くが運転されないので来庁するのが困難。また、スマートフォンをもたず、マイナンバーカードをご自身で申請するのが難しい

#### ➤ 実施の流れ

##### 1. 社会福祉協議会の職員と事前打ち合わせ

- ◆ 町が用意したポスター、チラシを掲示、配布（利用者に事前周知）
- ◆ スケジュールにマイナンバーカードの申請受付を組み込んでいただいた

##### 2. 申請受付（4つの地区に分かれていたため4日間）

- ◆ マイナンバーカードに関する説明、質問に回答
- ◆ 利用者への写真撮影の補助、手書き申請書を使用し受付を実施（暗証番号も考えてもらう）

##### 3. 出張交付

- ◆ 申請時に持ってくるよう頼んでおいた通知カードと引き替えに交付

### 3. 効果（実績：4日間、計45人）

- マイナンバーカードに関する知識を皆で共有でき、申請に関する利用者の不安を解消することができた
- 来庁が難しい利用者に対して、顔写真付きの証明書として活用できるマイナンバーカードを取得する機会を提供することができた



## ○三春町内小学校における出張申請サービス

### 1. 概要

- 小学校の学校行事(授業参観・学習発表会)に、町職員が赴いて手書き申請書を使用し出張申請受付を実施

### 2. 実施詳細・ポイント

#### ➤ 背景

20代～40代のマイナンバーカード取得率が低い

就労や育児で多忙な世代に対して申請が負担とならないサポートができないか？



そうだ！学校行事のついでに申請してもらおう！！

#### ➤ 実施の流れ

##### 1. 各学校へアンケート調査

★ 学校側での受入可否、受入可の場合は学校行事を報告

Point !  
学校側と行政側の要望をマッチングさせることにより双方の負担を軽減!!

##### 2. 保護者向けアンケート調査実施(実施校のみ)

★ マイナンバーカード取得希望者が何名いるか？

★ 取得しない方には理由も調査

Point !  
取得希望者を事前に把握することで対応人員を最小限に!!

##### 3. 学校側との打合せ、実施場所の選定・調査

##### 4. 町から保護者宛てに出張申請サービス実施の案内を配布(実施週)

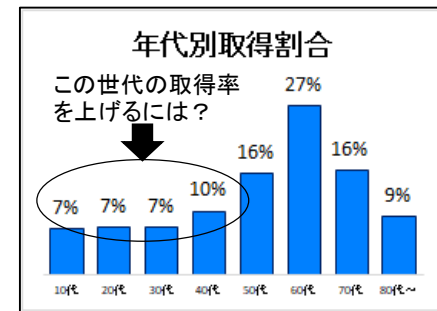
##### 5. 申請受付

★ 学校側より提案された場所で、写真撮影の補助、申請受付を実施

Point !  
実施を意識づけるとともに、持参物の遺漏防止へ!!

### 3. 効果(実績:実施校4校、申請受付36人、取得希望者118人)

- 保護者だけでなく、家族全員での申請もあり、15才未満の取得率も若干上昇した。
- 身近な会場での実施は申請者の負担軽減につながった。
- 当日、申請されなかった方にも役場でいつでも申請できる旨のチラシを配布した結果、後日、役場への来庁者が増加した。



**7月6日13時～中春小学校でマイナンバーカードが申請できます!**

平日、役場までカードを申請に行けない方、この機会に申請しませんか。通知カード、身分証明書(2点)を所持していた方は、マイナンバーカードはご自宅に本人設定受取郵便で送付させていただきます。送達へ変更です!

【受付時間】 13:00～13:30(1回目) 16:15～17:00(2回目)  
【場 所】 中春小学校1期校長室前

申請に必要なもの

- 通知カード
- 身分証明書2点 ※下記参照 ●印鑑
- 住民基本台帳カード(持っている方のみ)

※ 代理人の申請は原則受付できません。  
※ 写真撮影は当日無料で行います。

【本人確認書類】  
●必ず2点以上ご準備ください!  
●運転免許証 ●健康保険証 ●介護保険証 ●運転免許所持者確認証 ●年金手帳 ●年金証書 ●本人名義の通帳 等

コンビニで各種証明書が受取れます!

【取得可能な証明書】  
●住民基本台帳簿(住民票のみ)  
●戸籍簿抄本  
●戸籍簿抄本(三春町人のみ)  
●戸籍の附属の写し(三春町人のみ)  
●所得証明書(最終年度のみ)

【利用可能な証明書】  
●年功的30分・2分  
●(年功的30分・2分)  
●シニアパス(2日有効)

お問合せは 住民課 住民グループまで  
☎ 0247-62-8126

～保護者宛の案内～



## ○市内大学での出張申請受付・出張交付

### 1. 概要

- 筑波大学に市職員が赴いて、タブレット端末を使用して出張申請受付を実施
- 後日、市職員が大学に赴いてカードを一括交付

### 2. 実施詳細・ポイント

#### ➤ 実施の流れ

#### 1. 学生への事前周知

- ◆ 事前に大学の学生生活課と打合せ
- ◆ 食堂や学生棟などへのチラシの配布、掲示
- ◆ 学生が使用する電子掲示板への掲載依頼

#### 2. 申請受付(2日間、各日4時間半)

- ◆ 大学会館会議室に申請ブースを設置
- ◆ タブレット端末を使用し、学生の顔写真撮影、オンライン申請を実施

#### 3. 出張交付(2日間、各日4時間半)

- ◆ カードが出来上がり次第、暗証番号を設定し、申請した学生に交付通知書を送付。
- ◆ あらかじめ設定していた交付日に大学を訪問。(大学会館会議室に交付ブースを設置)
- ◆ 2日間で30人に交付。交付できなかった学生については、後日市役所で交付。

### 3. 効果(実績:2日間、計48人)

- 市役所に一度も来庁せず、自分で写真を用意せずとも学生にカードの申請機会を提供したことで市民サービスの向上につながった。
- 市役所から遠方に住んでいる交通手段の少ない学生にとって、有効な取組であった。

【ポイント1】  
あらかじめ申請日と交付日を設定し、チラシや掲示板等で周知。

【ポイント2】  
申請受付時につくば市のキャラクター「フックン船長」の着ぐるみを使用してチラシ配布やのぼり旗でのPRを行った。

